

無限大“∞”

～進路について考える5,6月そして定期考査～

今年はまだ梅雨入りせず、ムシムシジメジメとした日があまりなく、暑くはありましたが過ごしやすい6月前半でした。大雨が降りそうと予報が入るたびに、公共交通機関の運行状況をハラハラしながらチェックするのも県大附属あるあるなのかもしれませんね。来週あたりから気温がかなり上がり蒸し暑くなるようですので、しっかり睡眠と朝食をとって、夏休みまで走り切りましょう!!

【防災訓練】

防災訓練も中高合同で行われます。訓練ですが、地震時の対応や避難経路の確認、正確で迅速な点呼など、すばやく行動することができていました。消火活動・放水活動の訓練も行われました。



【生徒会認証式】

第31代生徒会の認証式が6月14日(金)にありました。31回生からは、文化副委員長として2組武本陽和さん、体育副委員長として1組田川綾夏さん、情報副委員長として1組山富凜音さんが執行部に入りました。新生徒会の一員として頑張ってくれることと思います。そして、みなさんも生徒会の一員です。



【1年の学びは高校の土台 part2】

6月に入り、国語(漢字)英語(単語)数学(数I教科書知識)の小テストが始まりました。初回の英語の単語テストはみるも無残…半数近くが再テスト、再テスト受験者の約8割が不合格というスタートでした。小テストに対しての勉強の仕方や時間のかけ方、気持ちの入れ方がわからず、あまり危機感を感じていない生徒たちがかなりいました。

しかし、ここからの成長がすばらしいのが31回生!数学、国語の漢字テストと続き、2週目3週目と繰り返すごとに、しっかり小テスト対策をして臨むことができるようになりました。その結果として、不合格者数が減るだけでなく、満点者が増え、勉強したなどわかる解答が増えてきています。

「千里の道も一歩から」裏面に掲載していますが、教育実習の先生方も日々の小テストや課題、模試を大切に取り組もうと言ってくださいましたね。好きなこと、興味があること、なりたいたいものが見つかったときに、実現させるための土台作りです。継続していきましょう!

【第2回定期考査が始まりました】

第1回定期考査のあと、高校生スイッチが入ったなど感じる人たちが増えてきました。「自分で学習する」という意識をもって取り組む姿がみられます。もちろん勉強だけでなく、挨拶や清掃、係の仕事や人の仕事をさっと手伝う、そんな日常でも同じことが言えます。一人一人の能動的に取り組む姿勢が少しずつ他の人へ影響して31回生全体に広がって欲しいと思っています。

さて、みなさんには、第1回定期考査のあとに考査の振り返りを書いて貰いました。前回書いた「良かったところ、改善したいところ」を今回の勉強に組みこむことができたでしょうか。よく「〇位以内に入る」「〇点以上をとる」という目標の立て方をする人がいますが、『何を』『いつまでに』『どのように』取り組むと実現できると思いますか?『どのように』を具体的にイメージして取り組むことが鍵🔑ですね。

【教育実習生の先生方を迎えて進路選択を考える会】

「教員になりたい」という思いをもった本校卒業生である実習生の先輩方に、進路を決めた時期、大学の研究内容、高校時代のお話を伺いました。やはり、現役大学生ということもあり、生徒たちは身近に感じ、自分ごととして話を聴くことができたようです。5名の実習生のうち、31回生(1-1, 1-3)で実習を行われたお二方の先生(古河妃奈子先生、南上礼希先生)からメッセージをいただきました。

頂いたメッセージと、進路選択を考える会の生徒たちの感想をいくつか紹介したいと思います。色んな人から色んな話を聞き、色んな価値観に触れ、色んな選択肢があることを知り、視野と心の幅を広げていこう!

♪7月～8月の行事予定(1年生関連)♪

- ・6/28(金)～7/4(木) 第2回定期考査
- ・7/5(金) 第1回進研模試
- ・7/11(木)、12日(金) 球技大会
- ・7/16(月)～午前中授業
- ・7/18(木) 進路講演会、大掃除、PM 寮大掃除
- ・7/19(金) GTEC(1,2時間目)、全校集会
- ・7/22(月)～7/26(金) 三者面談、前期補習
- ・8/19(月)～8/23(金) 後期補習
- ・8/22(木) 第2回全統模試(希望者・校内受験)
- ・9/2(月) 全校集会、課題考査(4教科)

「教育実習を終えて」

東京農工大学 農学部 応用生物科学科 古河妃奈子

教育実習は、初めてのことはばかりで想像よりも大変でしたが、それを越える大きな成長と充実した日々を得ることができました。短い間でしたが、31回生の皆さんと関わることができて嬉しかったです。私は、実習が始まる前からたくさんの生徒の前に立って授業をすることに、緊張してうまく話ができるのか、50分間授業をできるのか、とても不安に思っていました。ですが、皆さんが授業を聞いてくれたり、私の説明で理解できたと感じてもらったりすると達成感や嬉しさを感じ、徐々に緊張や不安は薄れていきました。授業を重ねていくと、教えることへの責任や難しさから緊張することも多くなり、皆さんのことを思い、考え、工夫して授業されている先生方の偉大さを身に沁みて感じました。

実習期間中は自分の授業に対して先生方からすぐにフィードバックをいただくことができ、それを活かしてまた次の授業を計画し、実行していました。さらに、授業をするだけでなく、さまざまな先生方の授業を参観させていただき、生徒の時とは違った視点で見て学んでいました。短期間で毎日のようにこれらを繰り返すことはとても大変でしたが、それが成長につながったのではないかと思います。ご指導いただいた先生方には感謝しかありません。私の経験から皆さんにお伝えしたいのは、成長の機会を逃さないことです。高校では小テストや定期テスト、模試など自分の足りない部分を知る機会がたくさんあります。そんな環境はなかなか無いありがたいことだと今になって思います。足りない部分に目を向けるのはしんどいですが、そこに成長できるポイントがあるのだと思います。これからの学校生活で大変なこともあると思いますが、後悔のないように頑張ってください。応援しています。

最後に、兵庫県立大学附属高等学校の先生方、生徒の皆さん、2週間という短い間でしたが大変お世話になりました。この経験を活かしてこれからも頑張っていきます。本当にありがとうございました。

「31回生のみなさんへ」

島根大学総合理工学部数理科学科 南上礼希

教育実習は非常に濃く凝縮されていて、1日は長く感じるのに2週間はあっという間に感じました。実は教育実習が始まる前から緊張していて、初めて教壇に立った時にはガチガチに緊張して頭が真っ白になってしまいました。しかし、31回生の皆さんが温かく迎えてくれたおかげで、緊張は徐々にほぐれていきました。皆さんはとても真面目で、積極的に取り組み、質問などにも答えてくれたので、授業やHRなどでとても助けられました。

31回生の皆さんに僕の失敗からアドバイスできることが2つあります。まず、たくさんの経験を積むことです。好きなことや夢は実際に体験してみることで見つかることが多いし、嫌だと先入観を持っていることもやってみれば意外に好きになったなんてこともよくあります。楽しみながら、仲間と切磋琢磨しながら頑張ってください。2つ目は、健康第一です。特に睡眠時間を削ることは、集中力が下がり悪循環に陥るのでお勧めしません。僕は偉そうに語れる立場ではないですが、僕の話やほかの教育実習生の話の中で、何か1つでも心に残るものがあればうれしいです。皆さんの夢を応援しています。頑張ってください。

最後になりましたが、兵庫県立大学附属高等学校の先生方、2週間の間、ありがとうございました。生徒の時とは異なる視点で教師という仕事を観察することで、今まで見えていなかった先生方の工夫や情熱に気づき、感心するばかりでした。そして、先生方のアドバイスは的確で、早く吸収しようと必死でした。頂いたアドバイスを活かせるようこれからさらに精進していきます。先生方、他の教育実習生や生徒の皆さん、家族、たくさんの人に支えられて教育実習が行うことができました。感謝を忘れず、この経験を活かせるようこれから頑張っていきたいです。ありがとうございました。

【生徒感想より】

・目標を抱いて入学してきたものの、入ったら本当に自分はそれをしたいのか、もっともっと視野を広げてじっくり考えてみてもいいのではないかと少し焦っていました。ですが、今日の話聞いて、早いに越したことはないですが、もう少し迷ってまた調べて考えていき、それでも納得いかなかったら大学に入ってからでも遅くはないんだと知ることができて少し心が軽くなりました。「ま〜いっか」といって少し現実から逃げた部分、テスト・小テストに対してあるので、そこでひと踏ん張りして全力でテスト・小テスト・課題に取り組んでいこうと思いました。1年生の夏、今からやったらまだ間にあうと知ることができたので、部活・勉強・友達との時間を充実させていきます!!! (西田 実沙紀)



・今回のことを聞いて、進路選択をする時にみんな同じように悩み考えているんだと思いました。その中でも、色々な方が言われているように、大学では受け身の気持ちではいけないんだということを感じました。しかし、なんとなくで大学を決めてしまうと「なんとなく」の気持ちが強く、自分から積極的にになっていくことは難しいと思うので、「ここに行きたい」という明確な目標を持って、少し厳しいと感じても上を目指すべきだと考えが少し変わりました。きっと、自分の今いるところよりも上を目指すことはしんどいし、大変なことだと思うけれど、そこまで自分にできる精一杯を頑張るといって過程がこれからはつながると思うので頑張りたいです。

(定松 諒)



・大学生になって大人になっていくのにコミュニケーションは必須なので、受け身にならず能動的に動ける人になりたいと思った。特別推薦の原先生、水口先生は日々の小テストや定期テストをコツコツと取り組み、日々上を目指すようにしていたからだと知られていた、自分もこれから日々の学びをしっかりと頭に入れていきたい。先生方が進学された国立大学や県立大学は並大抵の努力ではいけないと思うので、まずは自分の興味があるものは何なのか、何を学びたいのか、など自分の道を見つけていきたいと思った。そして、私はゆっくりと理解していくタイプ(勉強とか)なので、他の人よりスタートを早めに勉強していかないといけないと思った。始めることにフライングなんてないので、スタートを早めにして日々コツコツと学びを深めていきたい。(岩本 唯依)

・今回5人の先生方から話を聞いて、兵庫県や近畿の中だけでなく、全国や海外など様々な幅広い選択肢があると知りました。また、農学部でも農学だけを学ぶわけではなかったり、学部の名前だけで学べることは断定できないと知り、調べてみるのも面白そうだなと思いました。小テストを頑張ったり、宿題はしっかり提出したりするなど、高校1年生の時から努力できることはたくさんあるので、コツコツ頑張ることができる人間になりたいです。大学生生活の楽しさも聞くことができ、今を楽しみつつ、楽しい大学生活を過ごすために勉強も頑張りたいです。(佐藤 藍佳)

・教師という仕事に就くにも様々な道があることが驚きだった。専門が異なるといえど、道は一つではないということが目からうろこだった。また、もともと勉強家であったのかもしれないが、3年の終わりごろから勉強し始めても大学に受かっていた先生もおられ、そのような先生が「今のうちにできることをした方がいい」と言われたことがとても印象に残った。早すぎるということはないんだな、と感じた。(藤波 樹)

・私が最も心に響いた言葉は「高校生のうちに何か1つのことを頑張っておく」ということです。私は中学生の時からずっと音楽部でバイオリンを楽しみながら全力で頑張っています。このことによって、テスト前部活が無いときはエネルギーが勉強に変換出来て、効率も上がっているんだと気づきました。また1つのことを頑張れば、体力もメンタルも鍛えられるので、大学受験を万全な状態で受けるために、部活を継続していこうと思いました。(深見 理桜)

